



# 製品開発プロセスにかかる 時間とお金を節約する 5 つの方法

現在のプロトタイプ作成プロセスに、必要以上に時間とお金がかかっていませんか？  
評価者の承認プロセスで生じる摩擦を減らしたいと思いませんか？

## ソリューション

高品質のモデリングツールを社内チームの手の届くところに導入し、デザインプロセスに組み込みましょう。

従来型の製作方法の場合、製品開発チームは多大な時間とコストを費やす必要があります。高品質のサービスビューロを利用する場合、長い待ち時間が必要で価格もかなりの額になります。手作業による従来型のモデリング方法の場合、非常に面倒で時間がかかります。外注する場合、コミュニケーションが頭痛の種となり、知的財産権侵害を心配しなければならず、たびたび追加コストが発生するなど、さまざまな難題が待ち受けています。

コミュニケーションを容易にし、デザイン品質を高め、市場投入までの時間を短縮する方法があります。このガイドでは、フルカラー/マルチマテリアル対応のモデリングツールを社内を導入することで、コストと時間を節約し、製品デザインプロセスを大幅に改善する方法について説明します。

# 製品開発プロセスにかかる 時間とお金を節約する5つの方法

## 1. モデリングの時間とコストを削減します。

サービスビューロに外注する場合、モデルが到着するまで数日あるいは数週間待つ必要があります。手作業でモデリングと塗装を行う場合、発泡スチロールからモデルを成型するのに何時間も費やす必要があります。いずれもこれまでは標準的な方法でしたが、有効利用できずにはずの貴重な時間を浪費することになります。

フルカラー/マルチマテリアル対応の3Dプリンティングを社内を導入すると、モデルを迅速かつ効率的に造形できるようになります。材料の無駄を最小限に抑えつつ、後処理はほとんど不要で、コミュニケーションが強化される一方、デザイナーのモデリング時間は50%節約され、外注した場合のコストの15%でモデルを造形できます。



デザイナーの  
モデリング時間を  
50%節約

あるいは

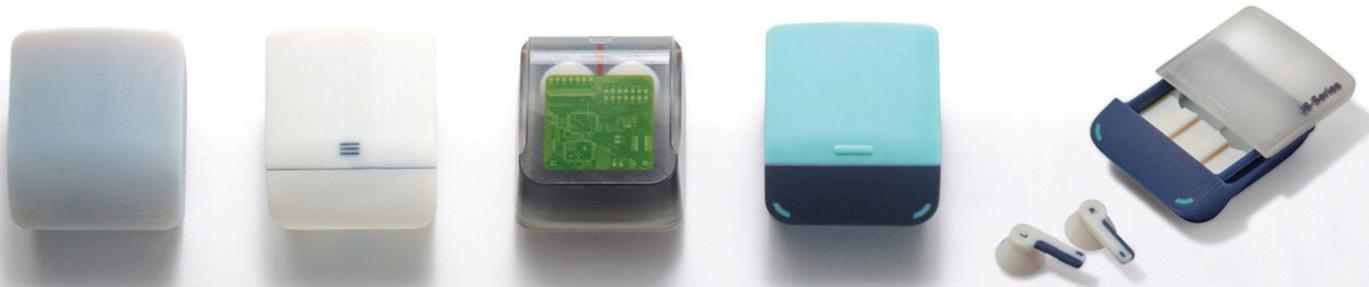


多数のデザイン候補で  
モデリング統合を加速

## 2. デザイン調整を加速します。

製品を市場に出すまでのスケジュールは厳密なため、外注や手作業を通じてモデルを手に入れる企業は、デザイン調整をスキップするか、レンダリングに大きく依存するか、実際のモデルを1つか2つに制限するといった妥協が必要になります。そのため、後でデザインの欠点が発覚して、プロセスが破綻し、余計に時間とコストがかかるおそれがあります。

社内にフルカラー 3Dプリンティングを導入すると、従来の方法で作成できるプロトタイプの数倍の数のプロトタイプを造形できるようになります。その結果、詳細なデザインモデルを早期に入手できるため、デザイン上の問題をプロセスの早い段階で解決し、仕様の決定やデザインの確定を迅速に進めることができます。



# 製品開発プロセスにかかる 時間とお金を節約する5つの方法

## 3. 製品デザインの品質を高めます。

外注は便利な方法ですが、コミュニケーション面の問題や待機時間が伴うために、信頼性に優れたモデル品質を実現できない場合があります。また、外注の場合、時間と予算の制約によって、作成できるプロトタイプの数に制限されるため、デザイナーは新しいアイデアを試すことができません。

3Dプリンティングをデザインプロセスに組み込むことで、モデル品質を高めつつ、社内だけでアイデアを確定することができます。3Dプリンティングを活用すれば、フルカラーやシミュレーション材料の表面仕上げを必要とするモデルの場合でも、デザイナーは多数のコンセプトモデルを造形して、早い時期にCMFモデルを造形し、忠実度の高いモデルもさまざまなバリエーションで造形することができます。



## 4. デザイン漏洩のリスクを低減します。

「外注を利用してビジネスを行うのであれば、知的財産権侵害は必然的に発生するコストとして仕方がない」と考える企業もあります。しかし、知的財産権侵害は、初期デザインの漏洩だけにとどまらず、企業の市場価値に長期的な影響を及ぼすおそれがあります。消費財市場では、約90%が海外に外注しています。その結果、5件あたり1件のデザインが盗用されています。

製作プロセスを社内だけで完結できれば、デザイン漏洩のリスクを大幅に低減できます。知的財産を社内だけで保持することで、製品を市場に出したときにインパクトを与えることができます。

# 製品開発プロセスにかかる 時間とお金を節約する 5 つの方法

## 5. 評価者から迅速に承認を得ます。

3Dプリンティングを活用すれば、わずか数時間で高品質のプロトタイプを作成して、評価者の手に届けることができます。2Dレンダリングだけでなく、リアルな実際のモデルを提供することで、製品の色や人間工学を評価する評価者が、デザイン決定を迅速化できるようになります。

また、デザインを調整しながらさまざまなバリエーションを評価者に届けることで、「開発チームは真摯にフィードバックに耳を傾け、対応している」と示すことができます。

これにより、評価者がプロジェクトを全面的にサポートするようになるだけでなく、プロセスが効率化され、優れた製品を数週間あるいは数か月早く市場に投入できるようになります。



外注に伴う問題や、手間のかかるモデリングプロセス、知的財産権侵害によって、時間とお金を浪費しているのであれば、Stratasys J55 3Dプリンタは、デザインプロセスを最大限に活用するための効果的なツールとなります。このストラタシス製マルチカラー/マルチマテリアル対応オフィスソリューションは、製品開発を迅速化し、費用対効果を改善しつつ、デザイン品質を高めます。

詳細：[www.stratasys.co.jp/3d-printers/j55](http://www.stratasys.co.jp/3d-printers/j55)

### 株式会社 ストラタシス・ジャパン

#### 東京本社 / ショールーム

〒104-0033  
東京都中央区新川 1-16-3  
住友不動産茅場町ビル 3F  
TEL. 03-5542-0042  
FAX. 03-5566-6360

[www.stratasys.co.jp](http://www.stratasys.co.jp)

ISO 9001:2015 認証取得済

#### 大阪支店 / ショールーム

〒540-6319  
大阪府大阪市中央区城見 1-3-7  
松下IMPビル 19F  
TEL. 06-6943-7090  
FAX. 06-6943-7091

